

# いい住まい いいシニアライフ



### 低所得高齢者と居住—地域包括ケアの実現に向けて

第3回 社会手当、「居住の権利」と地域善隣事業(1)

新潟大学法学部 准教授 白川 泰之

### 高齢期の継続居住に向けた住宅対策の二つのステージ—Adaptable Housing と House Adaptation

第2回 介護保険以降の住環境整備—制度的背景と基本的課題 (House Adaptation ①)

住生活技術研究会 主宰 鈴木 晃

### REPORT

その後の暮らし—高齢やサポート環境の変化とその対応

金沢大学理工研究域環境デザイン学系 准教授 西野 辰哉

### 東日本大震災レポート(5)

災害復興における「住宅」と「福祉」 その原点と接点を訪ねて

東京都都市整備局住宅政策推進部マンション課 マンション耐震化係 平野 正秀

### 地域居住 (エイジング・イン・プレイス) ~世界の潮流・日本の自派~

第21回 イギリスにおける「住まいとケアの分離」新潮流④ケア・ホームからエクストラ・ケア・ハウジングへ

東京家政大学人文学部教育福祉学科 講師 松岡 洋子

### REPORT 認知症高齢者グループホームの現在地

介護保険施行13年目の認知症高齢者グループホーム開設動向

有限会社ハヤカワプランニング 代表 早川 浩士 (経営コンサルタント)

### 「バリアフリー談義39」

私を建築現場に連れてって その40・41

一級建築士事務所 株式会社夢企画 代表取締役社長 吉田 誠治

### 住宅手当はなぜ必要か

第8回 「周辺」としての若者、一人親世帯、単身高齢者 (その3)

大阪市立大学大学院創造都市研究科 教授 小玉 徹



イギリスのエクストラ・ケア・ハウジング「ハリウッド・コート」  
(2012年9月撮影：東京家政大学 松岡洋子氏)

# R

## REPORT ● レポート

# 認知症高齢者グループホームの現在地

## 介護保険施行 13 年目の認知症高齢者グループホーム開設動向

有限会社ハヤカワプランニング 代表 **早川 浩士** (経営コンサルタント)

「認知症高齢者グループホームの開設動向」につき、vol.109に引き続き通算13回目の報告をさせていただきます。

**開設総数1万1,809カ所、定員総数17万2,795人分、単年度では開設数427カ所、定員数6,338人分の増加**

介護保険の施行から丸13年が経過。GHは1万1,809カ所(2013年3月31日現在)。

この1年間のGH増加数は、前年の689カ所と比べ4割減の427カ所、伸び率は103.8%。定員数も6,338人分増(伸び率103.8%)の17万2,795人分となった。

第5期介護保険事業計画の最終値19万7,465人分であることから、2万4,670人分が未整備の状態にあって、整備率の

全国平均は87.5%である。(表1)(図1)

**第5期計画の整備率全国平均は87.5%**

第5期計画の整備率を上位から順にみると、1位・佐賀県98.9%(計画値に

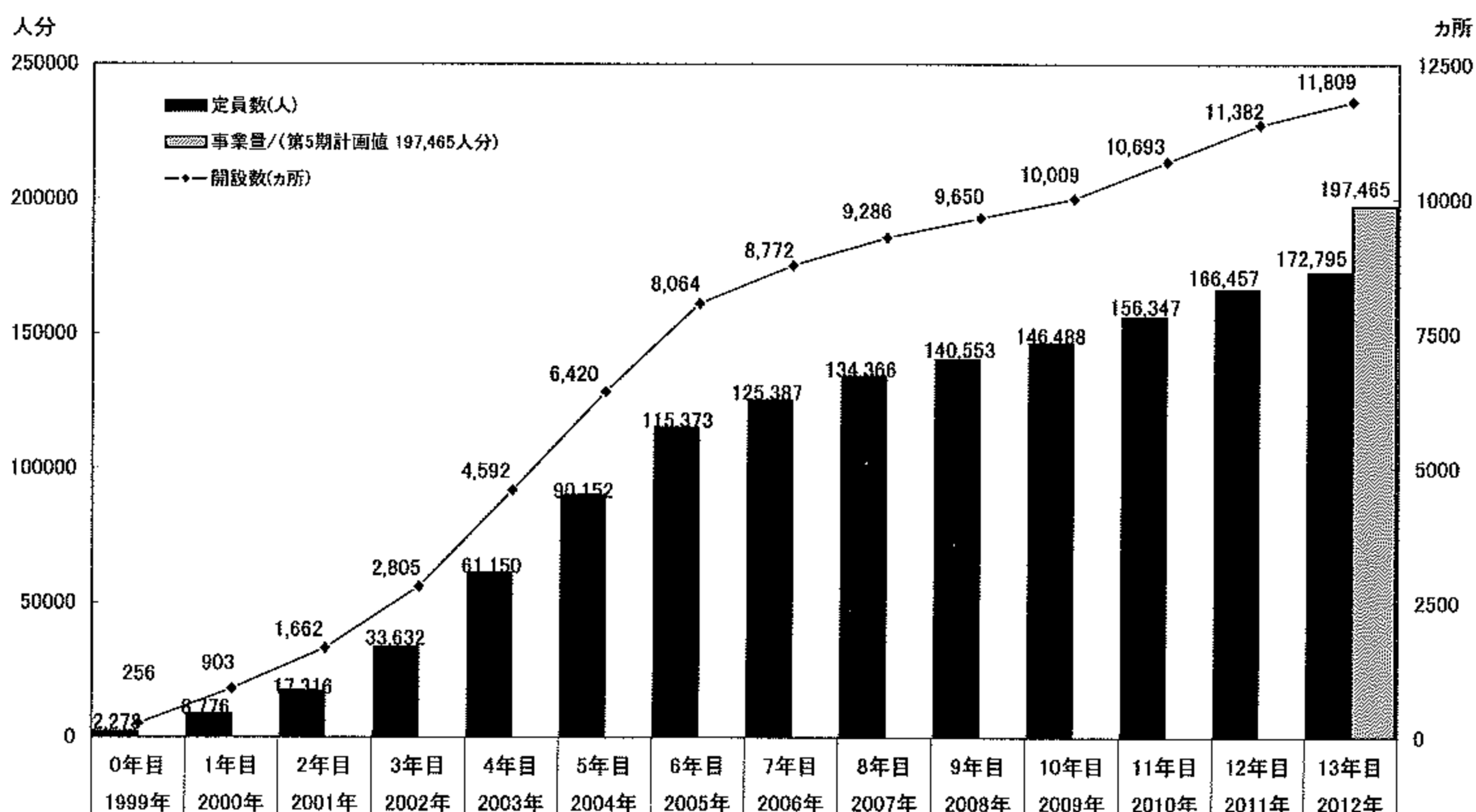
対してマイナス23人分)、2位・長崎県96.2%(同184人分)、3位・茨城県96.0%(同195人分)、4位・青森県95.2%(同241人分)、徳島県95.2%(同115人分)、6位・石川県93.7%(同182人分)、岡山県93.7%(同323人分)、

表1 認知症高齢者GHの開設数と定員数の推移

	カ所数 (a)		定員数 人分 (b)		1カ所当り定員 (b)/(a)		開設市 (区) 町村数	一市区町村当り開設数
		単年増(c)		単年増(d)	(b)/(a)	(d)/(c)		
1999年度	256	—	2,278	—	8.9	—	—	—
2000年度	903	647	8,776	6,498	9.7	10.0	567	1.6
2001年度	1,662	759	17,316	8,540	10.4	11.3	872	1.9
2002年度	2,805	1,143	33,632	16,316	12.0	14.3	1,256	2.2
2003年度	4,592	1,787	61,150	27,518	13.3	15.4	1,664	2.8
2004年度	6,420	1,828	90,152	29,002	14.0	15.9	2,029	3.2
2005年度	8,064	1,644	115,373	25,221	14.3	15.3	1,456	5.5
2006年度	8,772	708	125,387	10,014	14.3	14.1	1,503	5.8
		※416		※5,789		※13.9		
2007年度	9,286	514	134,366	8,979	14.5	17.5	1,501	6.2
2008年度	9,650	364	140,553	6,187	14.6	17.0	1,526	6.3
2009年度	10,009	359	146,488	5,935	14.6	16.5	1,524	6.6
2010年度	10,693	684	156,347	9,859	14.6	14.4	1,547	6.9
2011年度	11,382	689	166,457	10,110	14.6	14.7	1,527	7.5
2012年度	11,809	427	172,795	6,338	14.6	14.8	1,544	7.5

※2006年4月2日以降の開設

2013年3月31日現在  
ハヤカワプランニングの独自調査に基づく



(注) WAM-NETの数とは異なる

ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図1 認知症高齢者GHの事業量推移と見込み

表2 認知症高齢者GHの開設ヶ所数、定員数の推移

	1年目		12年目		13年目			1年間の増加数 (12年目) - (11年目)				第5期計画			
	2001年 3月31日		2012年 3月31日		2013年 3月31日							最終年値 2015年 3月31日	計画比		計画比 増減数
	カ所	定員 (人)	カ所	定員 (人)	カ所	定員 (人)	65歳以上 100人比	カ所	増位	定員 (人)	増位	定員 (人)	整備率	増位	定員 (人)
全国	903	8,776	11,382	166,457	11,809	172,795	0.6	427		6,338		197,465	87.5%		-24,670
北海道	56	504	868	13,713	886	13,956	1.0	18	5	243	9	14,932	93.5%	8	-976
青森県	31	310	312	4,750	314	4,768	1.4	2	36	18	40	5,009	95.2%	4	-241
岩手県	14	131	157	1,753	171	1,906	0.4	14	11	153	13	2,394	79.6%	39	-488
宮城県	17	141	217	3,122	221	3,213	0.6	4	26	91	19	4,088	78.6%	42	-875
秋田県	16	142	177	2,154	181	2,199	0.7	4	26	45	30	2,463	89.3%	19	-264
山形県	9	122	113	1,837	115	1,864	0.6	2	36	27	36	2,150	86.7%	28	-286
福島県	8	69	185	2,661	192	2,751	0.5	7	21	90	20	3,129	87.9%	25	-378
茨城県	12	110	278	4,620	282	4,656	0.7	4	26	36	34	4,851	96.0%	3	-195
栃木県	8	87	134	1,752	143	1,842	0.3	9	17	90	20	2,238	82.3%	36	-396
群馬県	36	372	240	2,789	250	2,879	0.6	10	13	90	20	3,115	92.4%	10	-236
埼玉県	26	254	361	5,903	370	6,065	0.4	9	17	162	11	6,723	90.2%	16	-658
千葉県	26	262	388	5,648	404	5,904	0.4	16	9	256	7	6,873	85.9%	32	-969
東京都	14	137	430	6,725	481	7,682	0.2	51	1	957	1	9,927	77.4%	43	-2,245
神奈川県	44	427	619	9,900	653	10,494	0.5	34	2	594	2	11,785	89.0%	23	-1,291
新潟県	12	111	194	2,710	212	2,959	0.4	18	5	249	8	3,431	86.2%	31	-472
富山県	10	88	114	1,531	118	1,576	0.4	4	26	45	30	2,114	74.6%	46	-538
石川県	23	252	166	2,677	168	2,704	0.9	2	36	27	36	2,886	93.7%	6	-182
福井県	5	37	64	901	66	928	0.4	2	36	27	36	1,073	86.5%	29	-145
山梨県	5	58	62	813	63	831	0.4	1	41	18	40	932	89.2%	21	-101
長野県	21	165	200	2,427	210	2,589	0.4	10	13	162	11	3,276	79.0%	40	-687
岐阜県	17	131	257	3,660	263	3,762	0.7	6	24	102	18	4,327	86.9%	26	-565
静岡県	8	83	320	5,032	330	5,185	0.6	10	13	153	13	5,647	91.8%	12	-462
愛知県	30	248	429	6,565	446	6,826	0.4	17	8	261	6	8,135	83.9%	34	-1,309
三重県	16	145	163	2,137	176	2,290	0.5	13	12	153	13	2,486	92.1%	11	-196
滋賀県	5	53	105	1,273	109	1,318	0.4	4	26	45	30	1,738	75.8%	45	-420
京都府	15	129	143	1,802	150	1,910	0.3	7	21	108	17	2,982	64.1%	47	-1,072
大阪府	37	391	533	7,588	567	8,145	0.4	34	2	557	3	10,312	79.0%	40	-2,167
兵庫県	25	298	310	5,088	318	5,232	0.4	8	20	144	16	6,391	81.9%	37	-1,159
奈良県	10	114	105	1,518	109	1,581	0.4	4	26	63	28	1,864	84.8%	33	-283
和歌山県	9	76	108	1,542	108	1,542	0.5	0	45	0	45	1,728	89.2%	21	-186
鳥取県	10	93	73	1,070	74	1,076	0.7	1	41	6	44	1,244	86.5%	29	-168
島根県	14	132	121	1,526	123	1,562	0.7	2	36	36	34	1,946	80.3%	38	-384
岡山県	39	394	324	4,697	331	4,787	0.9	7	21	90	20	5,110	93.7%	6	-323
広島県	19	242	300	4,625	318	4,932	0.7	18	5	307	4	5,486	89.9%	17	-554
山口県	23	200	165	2,153	174	2,243	0.5	9	17	90	20	2,676	83.8%	35	-433
徳島県	11	123	136	2,261	136	2,261	1.1	0	45	0	45	2,376	95.2%	4	-115
香川県	10	124	99	1,621	100	1,639	0.6	1	41	18	40	1,831	89.5%	18	-192
愛媛県	20	216	272	4,392	275	4,446	1.1	3	34	54	29	4,860	91.5%	14	-414
高知県	7	61	142	2,180	143	2,189	1.0	1	41	9	43	2,408	90.9%	15	-219
福岡県	34	302	583	8,476	602	8,752	0.7	19	4	276	5	9,390	93.2%	9	-638
佐賀県	11	146	163	2,065	173	2,155	1.0	10	13	90	20	2,178	98.9%	1	-23
長崎県	44	396	331	4,693	331	4,693	1.3	0	45	0	45	4,877	96.2%	2	-184
熊本県	17	149	209	2,599	215	2,671	0.5	6	24	72	26	2,991	89.3%	19	-320
大分県	9	93	124	1,640	128	1,712	0.5	4	26	72	26	1,935	88.5%	24	-223
宮崎県	24	208	160	2,090	164	2,135	0.7	4	26	45	30	2,460	86.8%	27	-325
鹿児島県	39	382	348	5,044	363	5,224	1.1	15	10	180	10	5,702	91.6%	13	-478
沖縄県	7	68	80	734	83	761	0.2	3	34	27	36	996	76.4%	44	-235

ハヤカワプランニングの独自調査に基づく

介護保険施行13年目の認知症高齢者グループホーム開設動向

8位・北海道93.5% (同976人分)、9位・福岡県93.2% (同638分増)、10位・群馬県92.4% (同236人分) となり、これに三重県、静岡県、鹿児島県、愛媛県、高知県、埼玉県を加えた16道県が90%以上を達成した。

逆は、最下位・京都府64.1% (マイナス1,072人分)、46位・富山県74.6% (同538人分)、45位・滋賀県75.8% (同420人分減)、44位・沖縄県76.4% (同235人分)、43位・東京都77.4% (同2,245

人分)、42位・宮城県78.6% (同875人分)、40位・長野県79.0% (同687人分)、大阪府79.0% (同2,167人分)、39位・岩手県79.6% (同488人分) までの9都府県が80%を下回った。(表2) (図2)

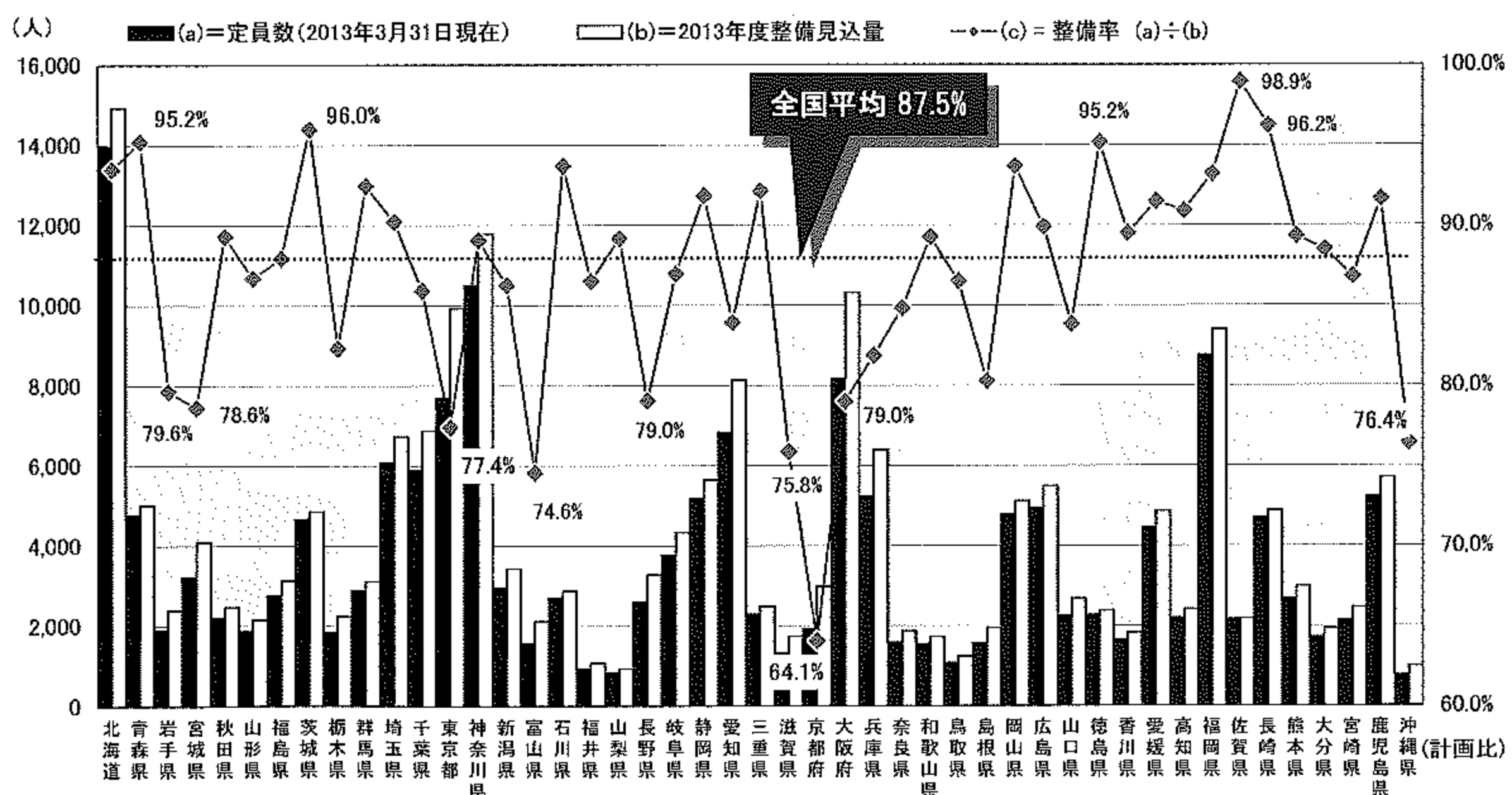
この1年間の開設状況をみると整備率の低い東京都ではあるが、定員数、開設数は共に4年連続して1位となった。

東京都の場合、4年前の497人分(30カ所)、3年前の819人分(47カ所)、2年前の1,137人分(62カ所)に今回

の957人分(51カ所)が加わったことから、4年間で3,410人分(190カ所)の整備が進んだものの、あと2年間で整備しなければならない数は、山口県の2,243人分に匹敵する2,245人分である。2位は神奈川県594人分(34カ所)、3位は大阪府557人分(34カ所)、4位は広島県307人分(18カ所)、5位は福岡県276人分(19カ所)。(表3)

表3 1年間にみる開設上位10位

順位	都道府県名	定員数	未整備数	順位	都道府県名	開設数
1位	東京都	957人分	2,245人分	1位	東京都	51カ所
2位	神奈川県	594人分	1,291人分	2位	神奈川県	34カ所
3位	大阪府	557人分	2,167人分	2位	大阪府	34カ所
4位	広島県	307人分	554人分	4位	福岡県	19カ所
5位	福岡県	276人分	638人分	5位	北海道	18カ所
6位	愛知県	261人分	1,309人分	5位	新潟県	18カ所
7位	千葉県	256人分	969人分	5位	広島県	18カ所
8位	新潟県	249人分	472人分	8位	愛知県	17カ所
9位	北海道	243人分	976人分	9位	千葉県	16カ所
10位	鹿児島県	180人分	478人分	10位	鹿児島県	15カ所



ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図2 認知症高齢者GHの整備状況 (第4期計画対比)

**トップは横浜市の4,794人分 (288カ所)**

定員数が45人以上の市町村は853 (前年比16増) に上る。

上位10は、横浜市4,794人分、札幌市3,905人分、名古屋市2,725人分、大阪市2,437人分、広島市2,040人分、北九州市1,853人分、鹿児島市1,816人分、松山市1,758人分、神戸市1,689人分、福岡市1,633人分と続く。北九州市が8位から6位、松山市が6位から8位、福岡市が13位から10位と順位が変更した。(表4)

**「株式会社」「有限会社」と合わせて53.8%を占める、「社会福祉法人」「医療法人」はポイントに増減なし**

最も多い「株式会社」は、3,421カ所 (前年比195カ所増)。

続いて、「有限会社」2,928カ所 (同39カ所増)、「社会福祉法人」2,632カ所 (同99カ所増) (内、社会福祉協議会64カ所)、「医療法人」2,055カ所 (同72カ所増)、「NPO法人」591カ所 (同14カ所増)。「その他」182カ所 (同8カ所増)。※平成17年6月に成立した新会社法 (いわゆる商法改正) が平成18年5月より施行された。商法第二編(会社)・有限会社法・商法特別法が一本化され「会社法」として制定。これにより、有限会社法・商法特例法等が廃止され、現行の有限会社は株式会社の最小単位として統合された結果、平成18年4月施行日以降、「有限会社」の設立が出来なくなったことなどから「株式会社」の開設数が増えている。

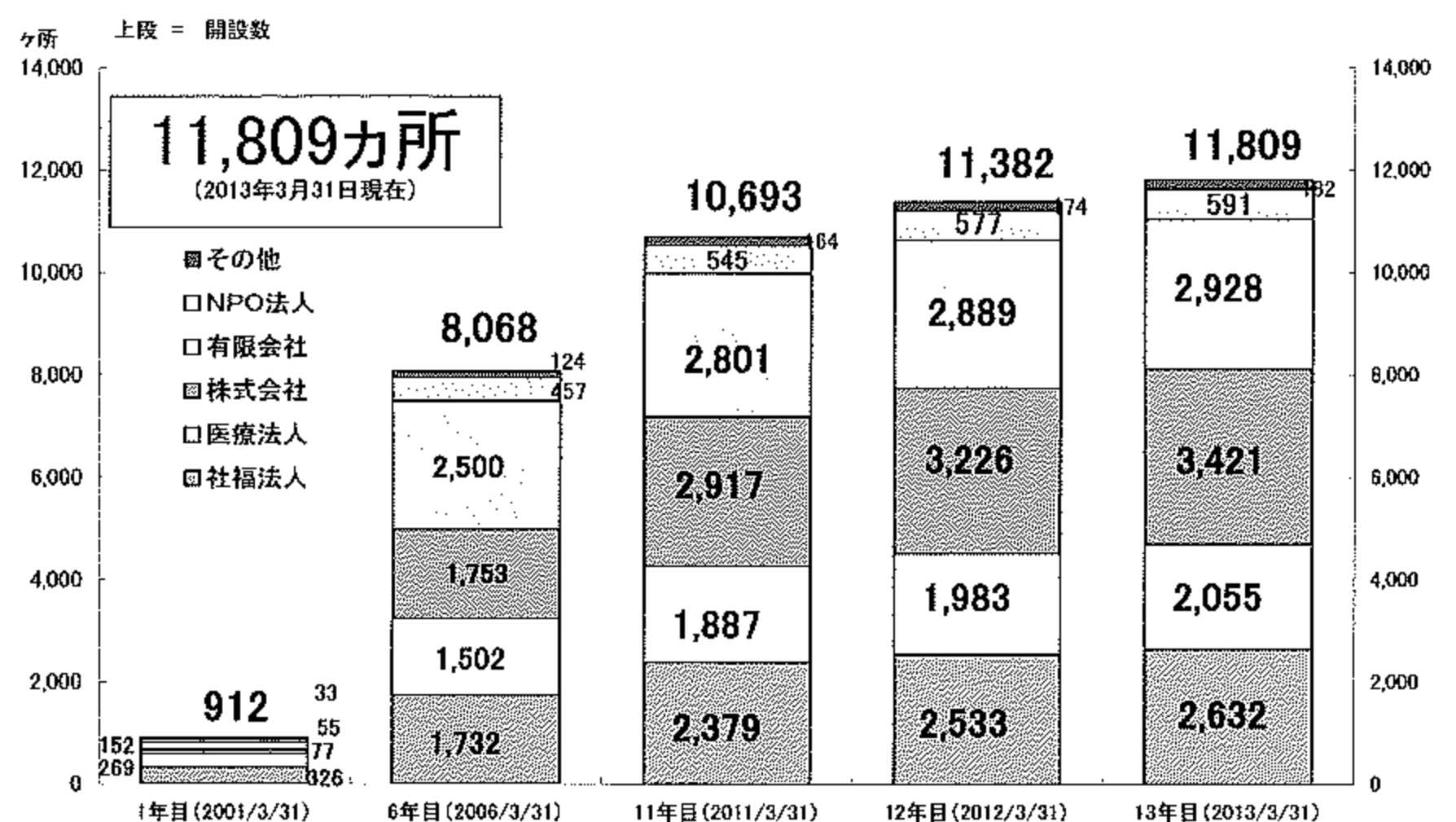
構成比をみると、「株式会社」は29.0%と前年比0.7ポイント増となり、

「有限会社」24.8%と同0.6ポイント減、「社会福祉法人」は22.3%と前年と変わらず、「医療法人」は17.4%と前年と変

わらずとなった。(図3)(図4) 法人種別にみる上位5位は、次の通り。(表5)

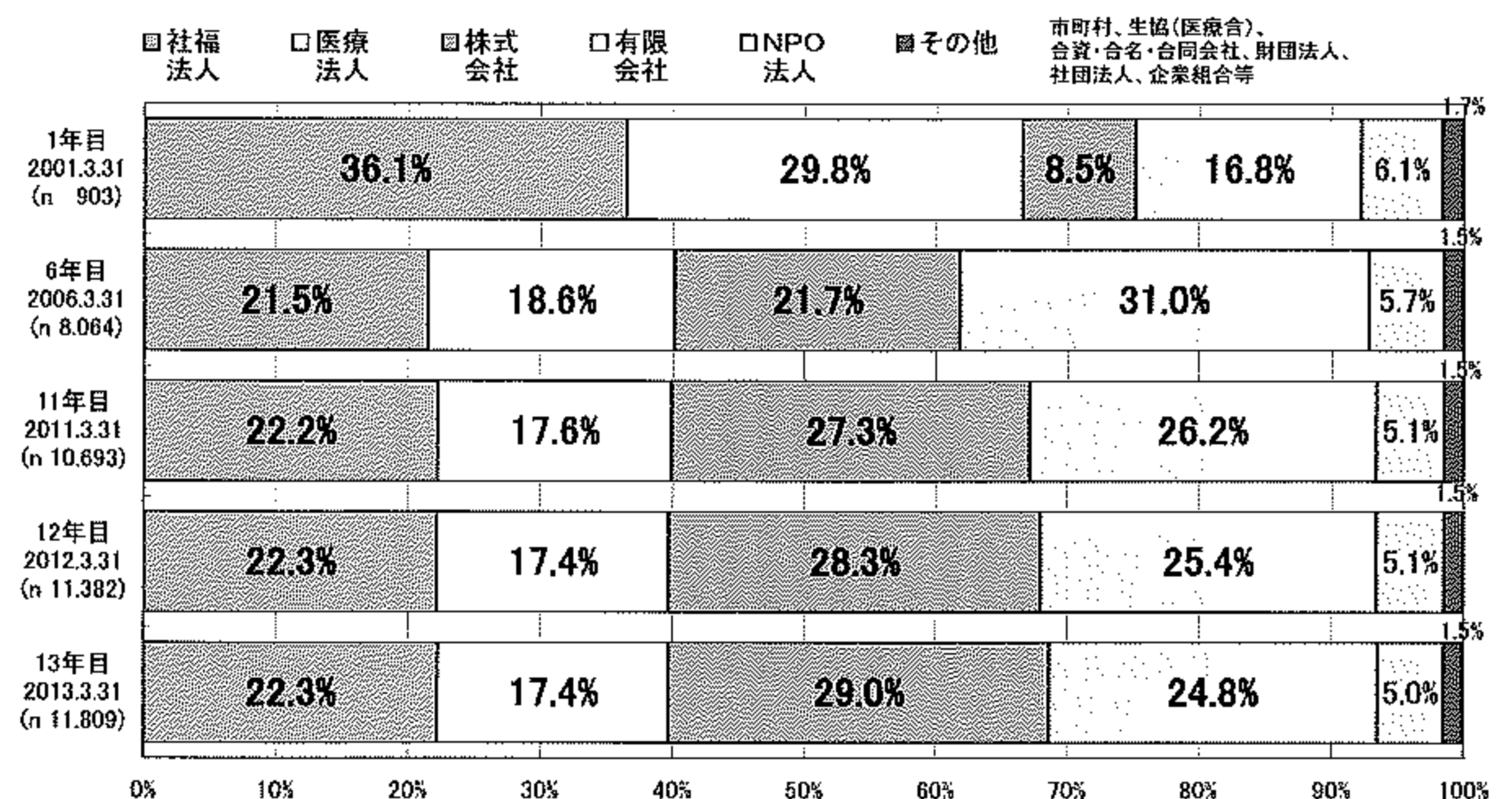
表5 法人種別にみる上位5位

	社会福祉法人		医療法人		株式会社		有限会社		NPO法人	
1位	大阪府	136	北海道	125	神奈川県	303	北海道	229	北海道	43
2位	青森県	123	鹿児島県	123	北海道	294	福岡県	210	神奈川県	
3位	福岡県	122	福岡県	112	東京都	235	長崎県	137	群馬県	31
4位	北海道	115	神奈川県	83	大阪府	214	愛知県	134	東京都	30
5位	神奈川県	110	大阪府	76	埼玉県	212	神奈川県	114	大阪府	25



(注) WAM-NETの数とは異なる ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図3 認知症高齢者GHの開設推移 (法人種別)



(注) WAM-NETの数とは異なる ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図4 認知症高齢者GHの法人種別構成比の推移





Main table containing demographic data for various Japanese prefectures (都道府県), including population, area, and other statistics. The table is organized by region, with columns for city names, population, area, and other metrics.

資料：ハヤカワプランニングの独自調査による

介護保険施行13年目の認知症高齢者グループホーム開設動向

大手GH開設法人・グループ

GH定員90人以上を経営する法人・グループは、昨年比12増の98法人・グループとなった。

1位、ニチイ学館4,309人分・244カ所(90人分増)。

2位メディカル・ケア・サービス・グループ3,608人分・192カ所(621人分増)。3位そよ風グループ(旧メディカジャパン・グループ)1,976人分・109カ所(129人分増)。4位ウイズネット・グループ1,520人分・76カ所(99人分増)。5位湖山医療福祉・グループ777人分・49カ所(増減0)。6位株式会社クイ531人分・30カ所(増減0)の順位は変わらず。7位はケア21が494人分・30カ所(18人分増)。8位はセントケア・グループ467人分・26カ所(増減0)。9位徳洲会グループ473人分・33カ所(18人分増)、10位日本ケアクオリティ459人分・25カ所(18人分増)となり、順位の変動は無かった。(表6)

「10～18人(2ユニット)」の伸び続く、「5～8人」は減少傾向、「19人以上」は頭打ち

定員別の内訳は、「10～18人(2ユニット)」6,309カ所(前年比251カ所増)、「9人(1ユニット)」4,423カ所(同163カ所増)、「5～8人」433カ所(同1カ所増)、「19人以上」644カ所(同12カ所増)。

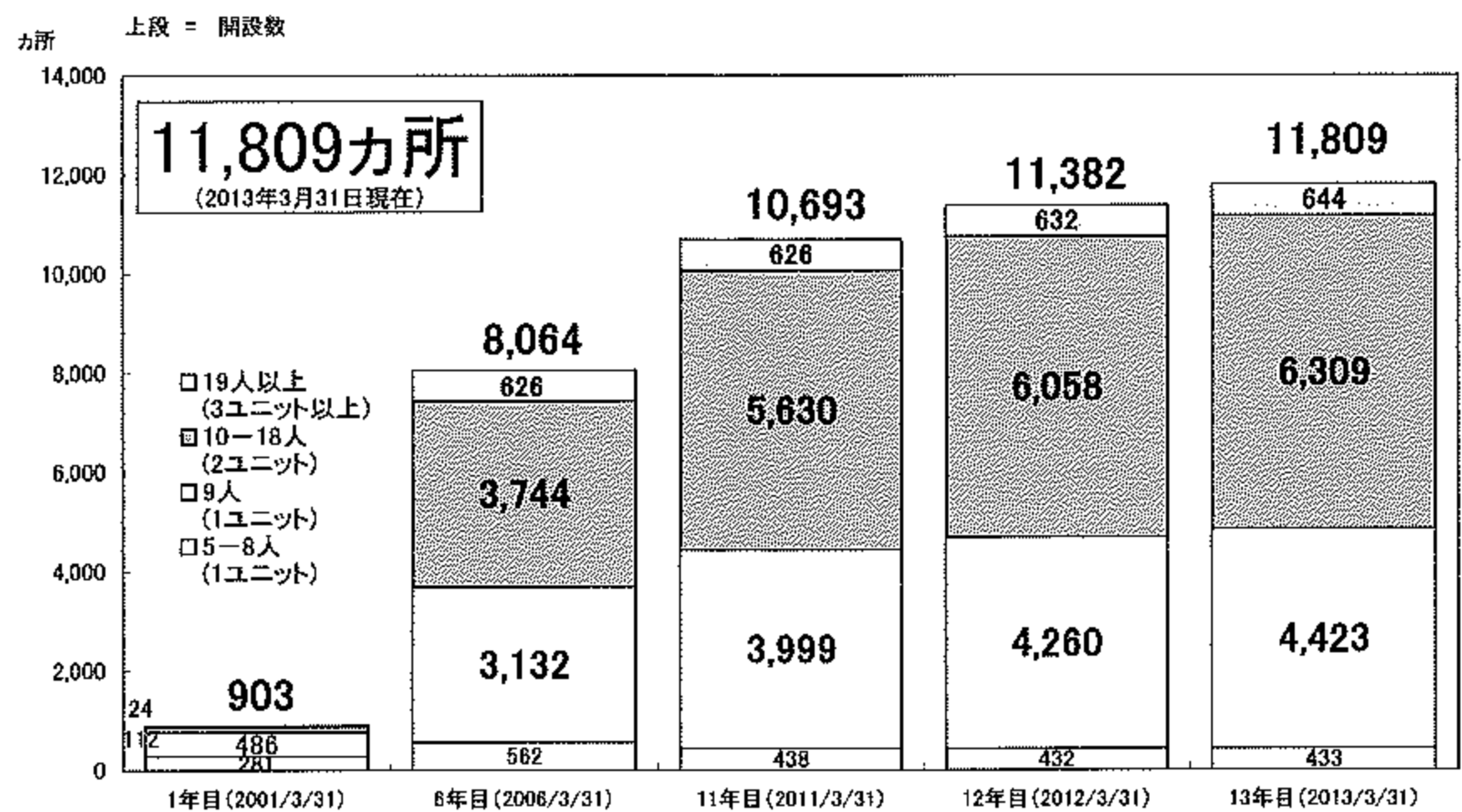
構成比では、「10～18人(2ユニット)」53.4%と前年比0.2ポイント増、「9人(1ユニット)」は37.5%と前年比0.1ポイント増、「5～8人」は3.7%と同0.1

ポイント減、「19人以上」は5.5%と同0.1ポイント減。(図5)(図6)

定員別にみる上位5位は、次の通り。(表7)

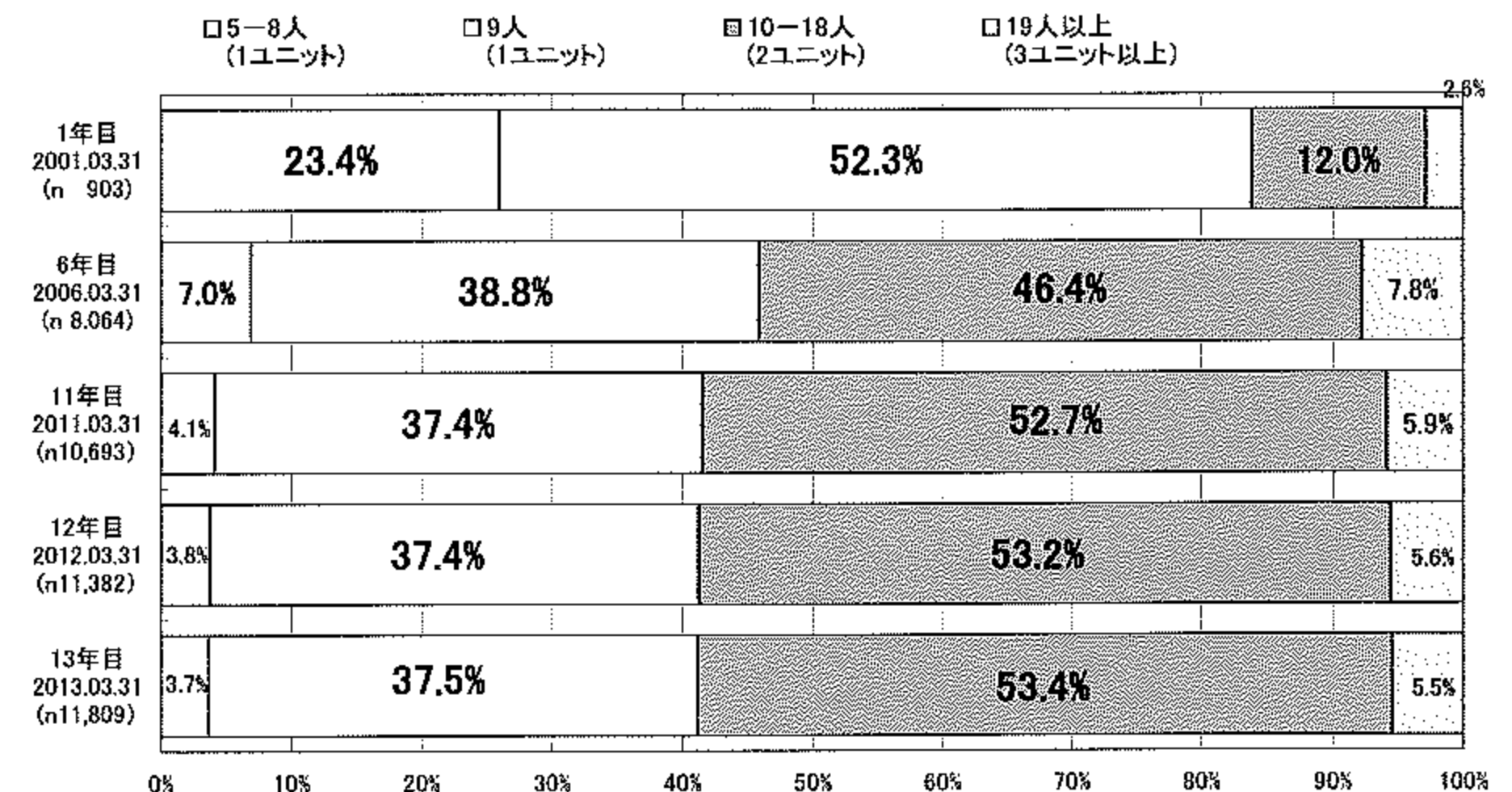
表7 定員別にみる上位5位

	5-8人 (1ユニット)	9人 (1ユニット)	10-18人 (2ユニット)	19人以上 (3ユニット以上)
1位	大阪府 51	北海道 237	北海道 575	北海道 53
2位	神奈川県 34	福岡県 231	神奈川県 478	埼玉県 46
3位	長野県 23	群馬県 192	福岡県 328	兵庫県 39
4位	北海道 21	大阪府 187	東京都 318	茨城県 38
5位	東京都 20	鹿児島県 143	大阪府 297	東京都 33



(注) WAM-NETの数とは異なる ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図5 認知症高齢者GHの開設数推移 (定員区分別)



(注) WAM-NETの数とは異なる ハヤカワプランニング 第17回認知症高齢者グループホーム開設動向調査から

図6 認知症高齢者GHの定員区分別構成比の推移



表6 GH開設法人・グループの定員数ランキング (90人以上)

2013年3月31日現在

順位	法人名	定員数 (人)	開設数 (カ所)	開設地
1	㈱ニチイ学館	4,309	244	
2	メディカル・ケア・サービス・グループ	3,608	192 (※1)	
3	そよ風グループ	1,976	109 (※2)	
4	ウイズネット・グループ	1,520	76 (※3)	
5	湖山医療・福祉グループ	777	49 (※4)	
6	㈱ツクイ	531	30	神奈川10、北海道、新潟各3他
7	㈱ケア21	494	30	大阪12、東京5、兵庫4、神奈川、京都3他
8	セントケア・グループ	467	26 (※5)	
9	徳洲会グループ	473	33 (※6)	
10	㈱日本ケアオリエティ	459	25	静岡県
11	洛和会グループ	419	28 (※7)	
12	東北医療福祉事業協同組合グループ	396	27 (※8)	
13	㈱日本ケアマネジメント協会	360	20	神奈川
14	(医) 長啓会グループ	351	21 (※9)	
15	スターツケアサービス㈱	342	18	東京12、千葉5、神奈川1
16	㈱アイシマ	324	18	神奈川県
17	㈱エゴ	306	17	福島
18	日経ふれあいケアサービス株式会社	297	17	北海道
	メッセージグループ	297	15 (※10)	
	(医) 正信会グループ	297	12 (※11)	
21	㈱トウルーケア	288	12	埼玉
22	㈱いっしん	270	14	茨城11、神奈川2、千葉1
23	三菱電機ライフサービス㈱	267	16	愛知3、群馬、神奈川、長崎各2他
24	JAWAグループ	252	13	兵庫4、大阪3、広島2他
25	㈱アルムシステム	243	16	北海道
	ミモザ㈱	243	14	神奈川11、東京3
27	(社) 香南会	234	14	高知13、愛媛1
28	㈱カムネスライフ	225	15	大阪
29	(有) 政経	216	9	静岡7、愛知2
30	(有) ほおずき	207	12	兵庫
31	バンドーウエルフェアグループ	198	10 (※12)	
	㈱ジェイバック	198	12	福島6、山形4、宮城2
33	(社) 伸こう福祉会	189	10	神奈川
34	㈱メディカルケアシステム	180	10	神奈川9、東京1
	ミサフホームグループ	180	12 (※13)	
36	㈱ウエル	171	9	宮城
	㈱ヘルシーサービス	171	10	千葉
	和同会グループ	171	10 (※14)	
39	㈱大起エンゼルヘルプ	169	10	東京9、茨城1
40	愛全会グループ	168	11 (※15)	
41	ケアサブライシステムズ㈱	162	18	群馬17、埼玉1
	サン・サングループ	162	13 (※16)	
43	㈱エポカケアサービス	160	9	広島7、山口2
44	㈱日本ケアリンク	159	14	東京10、千葉2、埼玉、神奈川各1
45	㈱じょうてつケアサービス	153	8	北海道
	木下グループ	153	9 (※17)	
	㈱愛誠会	153	8	東京3、神奈川2、静岡2、千葉1
	㈱ココチケア	153	8	東京
	㈱メディカルコーポレーション	153	10	愛知3、岐阜、東京各2、山梨、静岡、滋賀各1
	(医) ひがしの会	153	9	広島
	サンキ・ウエルビー㈱	153	11	広島5、山口3、島根2、岡山1
	(社) ふるさと自然村	153	9	高知
53	(医) 三草会	144	9	北海道
	(医) 春風会	144	8	鹿児島県
	(医) 誠心会	144	8	鹿児島
	㈱アクティブ・ケア	144	8	北海道7、岡山1
	㈱健康会	144	8	北海道
58	㈱新風会	143	8	愛媛
59	アイケアグループ	141	8	北海道6、東京2
60	ツツイグループ	135	6	神奈川4、徳島2
	(社) ころほうえん	135	9	鳥取8、東京1
62	平成福祉会グループ	126	9 (※18)	
	㈱ひょうま	126	9	広島6、島根3
64	清山会グループ	117	8	宮城
	㈱あすなろホーム	117	6	埼玉
	(社) 秀峰会	117	8	神奈川8
	(社) 誠幸会	117	5	神奈川5
	(社) サン・ビジョン	117	9	長野7、愛知2
	(有) ネクストサプライ	117	6	愛知
70	メディカル・ケア・プランニング㈱	108	6	千葉3、埼玉2、東京都1
	きのこグループ	108	10 (※19)	
	ルミナス㈱	108	6	神奈川4、東京2
	(医) 平平堂	108	6	神奈川
	㈱ファイブシーズヘルスケア	108	6	兵庫
	ウエルコンサル㈱	108	6	奈良
	㈱アイ・エム・シー	108	5	高知
77	日本ロングライフ㈱	107	4	大阪3、兵庫1
78	(有) ナチュラル・ライフ	105	7	静岡4、岐阜2、東京1
79	㈱フレンド	99	8	栃木
	㈱カネット・ふれあい	99	5	埼玉
	(医) 静隆会	99	4	静岡
	(有) 沙羅	99	6	高知4、愛媛2
83	(社) 慈恵会	98	7	岐阜
	㈱西日本介護サービス	98	5	福岡4、兵庫1
85	(社) さくら福祉会	90	5	山形
	(医) 東北医療福祉会	90	4	山形
	(医) 富士たちはなクリニック	90	8	群馬
	㈱愛総合福祉	90	5	千葉2、宮城、東京、神奈川各1
	アークエム㈱	90	5	千葉
	(社) すこやか福祉会	90	7	東京
	㈱エイジサービス	90	5	神奈川4、東京1
	(社) 愛宕福祉会	90	7	新潟
	㈱プラス	90	5	岐阜3、愛知2
	(医) 三幸会	90	8	京都
	㈱アクティブライフ	90	4	兵庫
	テルウェル西日本㈱	90	5	愛媛2、大阪、岡山、広島各1
	(社) 平成記念会	90	5	徳島4、山口1
	(医) 言峰会	90	6	愛媛
	計	23,804	1,362	

ハヤカワプランニングの独自調査に基づく

- (※1) メディカル・ケア・サービス北海道180人・9カ所 (北海道)、メディカル・ケア・サービス東北153人・8カ所 (宮城5、福島3)
  - メディカル・ケア・サービス新潟144人・7カ所 (新潟)
  - メディカル・ケア・サービス(株)1,907人・102カ所 (埼玉28、東京19、千葉15、神奈川13、静岡9他)
  - メディカル・ケア・サービス南埼玉54人・2カ所 (埼玉)、メディカル・ケア・サービス東海675人・38カ所 (岐阜25、愛知10、福井2他)
  - メディカル・ケア・サービス関西225人・12カ所 (兵庫5、大阪3、京都、奈良、岡山、山口各1)
  - ㈱エム・シー・エス四国90人・4カ所 (高知2、香川2) 他54人・3カ所 (北海道、福岡、熊本各1) を含む
  - グループホームキノシタ (有) 126人・7カ所 (三重県)
- (※2) ㈱ユニマツトそよ風1,577人・87カ所 (埼玉14、千葉8、東京、茨城各7、大阪6他)
- (※3) ㈱ウイズネット1,394人・66カ所 (埼玉32、神奈川29、東京5)、㈱ドクターズネット東京126人・5カ所 (東京都4、埼玉県1)
- (※4) (医) 緑愛会117人・6カ所 (山形)、(医) 平成会63人・5カ所 (福島)、(社) 湖星会9人・1カ所 (福島)、(社) カメリア会18人・1カ所 (東京)
  - (医) 湖聖会18人・1カ所 (東京)、(社) 苗場福祉会132人・8カ所 (新潟7、千葉1)、(医) 百葉の会153人・10カ所 (静岡9、山梨1)
  - (社) 湖成会24人・2カ所 (静岡)、(医) 日輝会54人・3カ所 (鳥取)、(医) ひがしの会135人・8カ所 (広島)、(医) 水澄み会54人・4カ所 (島根)
- (※5) セントケア東北36人・2カ所 (宮城)、セントケア千葉134人・7カ所 (千葉)、セントケア東京27人・2カ所 (東京)、
  - セントケア神奈川180人・10カ所、(神奈川) セントケア中部18人・1カ所 (静岡)、セントケア静岡9人・1カ所 (静岡)
  - セントケア西日本45人・2カ所 (大阪、兵庫各1)、セントケア和歌山18人・1カ所 (和歌山)
- (※6) ㈱ケアネット徳洲会135人・8カ所 (千葉3、神奈川2、宮城1、山形1、新潟1)、(医) 徳洲会45人・3カ所 (北海道、山形、大阪)
  - (医) 沖縄徳洲会45人・4カ所 (沖縄2、鹿児島、千葉各1)、(有) ソフィア・インターナショナル72人・5カ所 (鹿児島)
  - インターナショナル・ホスピタル・サービス(株)45人・4カ所 (鹿児島3、北海道1)、他131人・9カ所
- (※7) (医) 洛和会207人・12カ所 (京都11、滋賀1)、(社) 洛和福祉会126人・10カ所 (京都、他86人・6カ所 (京都、滋賀各3))
- (※8) (医) 仁泉会225人・15カ所 (青森8、宮城4、岩手3)、(社) みやぎ会63人・4カ所 (宮城3、福島1) 他
- (※9) (医) 長啓会333人・20カ所 (静岡、東京各6、神奈川4、京都他)、(社) 長啓会18人・1カ所 (静岡)
- (※10) ㈱メッセージ153人・7カ所 (岡山、大阪、兵庫各2、広島1)、㈱ジャパンケアサービス144人・8カ所 (東京4、神奈川2、宮城、千葉各1)
- (※11) (医) 正信会288人・11カ所 (茨城)、(社) 青丘9人・1カ所 (茨城)
- (※12) バンドーウエルフェアグループ(株)162人・8カ所 (青森)、バンドーケアポート(株)36人・2カ所 (秋田)
- (※13) ㈱マザアス117人・7カ所 (東京4、千葉3)、(社) マザアス45人・4カ所 (東京)、セントスタッフ(株)18人・1カ所
- (※14) (医) 同和会108人・6カ所 (山口、広島各3)、(社) 博愛会63人・4カ所 (山口)
- (※15) (社) 愛全会63人・4カ所 (北海道)、(医) 愛全会72人・5カ所 (北海道)、ホームケアサービス(株)33人・2カ所 (北海道)
- (※16) (社) サン・ビジョン117人・9カ所 (長野7、愛知2)、(社) サンライフ45人・4カ所 (愛知2、岐阜2)
- (※17) ㈱キノシタライフ117人・7カ所 (東京4、神奈川3)、㈱木下の介護36人・2カ所 (東京)
- (※18) (社) 平成福祉会117人・8カ所 (長野)、(医) 敬仁会9人・1カ所 (長野)
- (※19) 社会福祉法人新生寿会81人・7カ所 (東京4、岡山3)、医療法人社団きのこ会27人・3カ所 (岡山)

介護保険施行13年目の認知症高齢者グループホーム開設動向

追記

7年後の2020年夏、オリンピックとパラリンピックが東京で開催されることが決まった。

ロンドン五輪では、日本のメダル獲得数が史上最多の38個を獲得。このメダル獲得数の更新にも期待が高まるが、浮かれた皮算用をしてばかりはられない。

スポーツ競技団体は、新たな選手の育成や強化も急務だが、それ以上に指導者の発掘や教育についても手を緩めることが許されない。一部の競技で体罰という名の虐待が行なわれ、これが大きな社会問題へと発展したからだ。ドーピングに揺れる海外事情とは異なるものの、いずれにせよ指導者と選手のそれぞれが人間力向上に全力を傾けなければなるまい。

介護業界に転じると、2006年4月1日に「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」、いわゆる「高齢者虐待防止法」が施行。これによって養介護施設従事者等（介護老人福祉施設など養介護施設又は居宅サービス事業など養介護事業の業務に従事する者）による高齢者虐待が認められ、11年度の調査では前年度比55件増の151件に及ぶ。

フランスには、「貴族たるもの、身分にふさわしい振る舞いをしなければならぬ」という意味を持った「ノブレス・オブリージュ (noblesse oblige)」という諺がある。

身分の高い者はそれに応じて果たさねばならぬ社会的責任と義務があるという欧米社会における基本的な道德観であり、「位高ければ徳高きを要す」とも訳

されている。

人材の育成と強化、加えて人間力向上は、介護業界にとっても同じであろう。

■育自していますか？■

今年の夏、開設満10周年を迎えた、長野県のとある事業所を訪問したときのこと。20代の男性介護職員が着ていた紫色のポロシャツの背中を染め抜いた言葉に目が釘付けとなった。(写真1)

みんな一生懸命生きている  
これでいいのかと  
問う日もあるけれど  
そのたびに大きくなろう  
少しずつ、今しかない  
この時をこの一瞬を  
この仲間たちと

このポロシャツは、事業所が支給した制服ではない。高校（福祉科）時代、学友と一緒に考えて作ったものだという。介護現場は、日々折々にさまざまなことが起こる。皆さんは矢継ぎ早に起きる出来事一つひとつを、どのように受け止めているのであろう。猛烈な勢いで次々と問題が襲ってくると感じるのか、それとも一つひとつを自分にとっての成長の糧と捉えているのか。ネガティブに受け止めてしまうか、ポジティブに考えることができるか。

落ち込むこともあれば、高揚することもある自らの気持ちに理屈をつけ、身勝手な自己基準で捉えようとしている人も少なくない。だからこそ、ポロシャツの背中を染め抜いた彼の後ろ姿を見るや否や、人材育成を問い直すキーワードとして「育自（自らを育てる）」という言葉



写真1

が脳裏に浮かんだのである。

乳幼児を育てるという“育児”ではない。

彼のうしろ姿は、仮に背中を向けて仕事をしていたとしても、背中を見せて志事をしているかのように輝いていた。

多くの介護職と接してきたが、このような若者に会ったのは初めてである。

これからは、挨拶代わりに問いかけるようにしたい。「育自していますか？」と。

■実践から自分を育てること■

実は、この法人から「開設10周年」の行事について相談を受けていた。

そこで、『10周年記念誌』の製作を提案させていただいた。

9人の編集委員が選抜され、A4判213頁にのぼる大作が完成した。

開いてみると、法人役員の謝辞の言葉が目を引いた。

「開設から数年たった時、ある役員から『経営は失敗の科学である』との一言

をいただきました。どんな知識があっても、理論を持っていても大切なことは、失敗の経験をどう学び、それを自分に取り入れるか、人間の限られた時間のなかから学びを学ぶ姿勢。それは、書であったり、師であったり、聞く耳を持つことが大切であるという。まだまだ未熟で発展途上ではあるものの、たかが10年、されど10年、地域の皆さまと共に歩んできたことに感謝を申し上げます」

また、法人トップが寄せた言葉にも目頭が熱くなった。

「実践から自分を育てること」

「彼らについて何を知っているのか、彼らに対して又彼らの為に何をやったのかということが問われるのではなく、彼らと共にどういう生き方をしたかが問われる世界である」

「実践から学ぶことこそが介護従事者の介護の精神基盤を確立させるのであり、またそのような実践の態度によって介護従事者の品位が備わるのである」

自らが、毎日の出来事を10年間に渡って書き綴ったなかから選んだ、珠玉の言葉であるという過言ではない。

トップ自ら、この職員を一から育てたわけではない。

だが、「この親にしてこの子あり」という諺にもあるように、介護の志事を「育自」として捉えて取り組んでいる姿は微笑ましいものを感じさせられた。

人材育成が急務であると唱えるばかりではなく、自らを育てる「育自」の二文字を疎かにしてはなるまい。

最後に『青春の詩』を記して締めくく

らせていただく。(写真2)

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。

歳を重ねただけで人は老いない。

理想を失った時、初めて老いる。

人は信念と共に若く

疑惑と共に老いる。

人は自信と共に若く

恐怖と共に老いる。

人は希望と共に若く

失望と共に老い朽ちる。

いま、頭を高く上げ希望の波をとらえる限り、たとえ何歳であろうと君は若い。

これは、連合国軍最高司令官マッカーサー元帥の座右の銘、『青春の詩』の一部である(英文名『Youth』)。

「青春」とは、青は春の色であるとした五行説(中国古代人の世界観の1つで、万象の生成変化を説明するための理論)の考え方に基づいていることから、夢や希望に満ち活力の漲る若い時代を人生の春にたとえ、「青春を謳歌する」などと用いられるのが一般的だ。

ところが、「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう」とともに、「歳を重ねただけで人は老いない。理想を失った時、初めて老いる」と、この詩は語る。

トップの中には、開設からの歳月を走馬灯のように思い描く人もいるであろう。まさに、「光陰矢のごとし」である。

ところが「もう、若くはない!」とか「もう、年だ!」などと、口ぐせのように連発しているトップはいないだろうか。

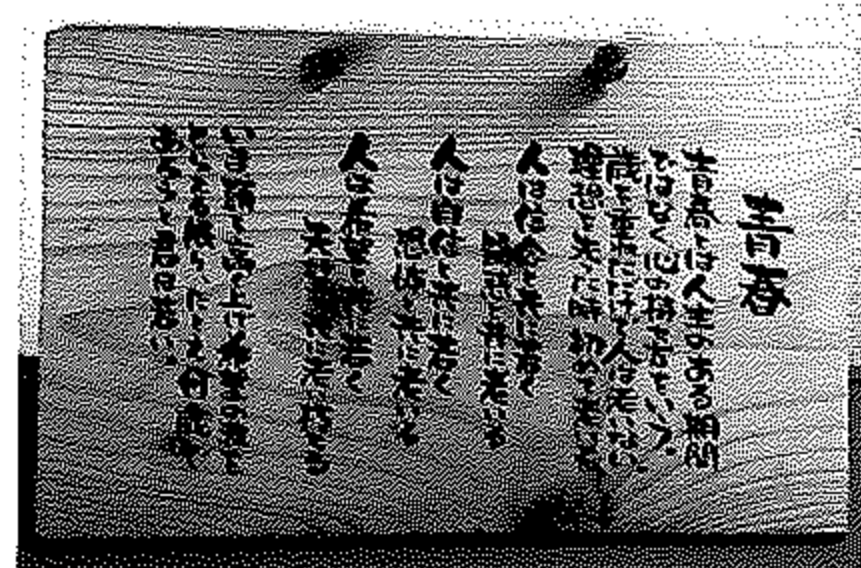


写真2

2015年の介護保険制度改正に向けた審議が本格化してきた。

『青春の詩』が、心ある人へのカンフル剤となれば幸いである。

#### 【留意事項】

昨年まで16回に渡って実施してきた認知症高齢者グループホーム開設動向調査は、WAM-NET(独立行政法人福祉医療機構が運営する情報サイト)の「都道府県別介護保険指定サービス事業者登録状況」に基づく認知症高齢者グループホームに関する基本情報を基にして、介護保険施行1年目を迎えた2001年3月31日時点から継続調査を繰り返したものである。昨年10月より、WAM-NETのサービス提供のあり方が見直された結果、今回の調査は47都道府県及び市町村に対して直接調査を行なったことから膨大な時間を費やすことになったため、従来に比べて発表が大幅に遅くなった。「医療連携」の掲載は、新規開設ホームの実態を把握することが難しくなったことから割愛した。

#### ■問合せ先:

有限会社ハヤカワプランニング

■E-mail: info@hayakawa-planning.com